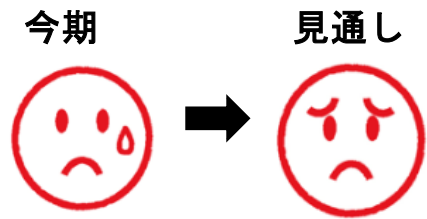


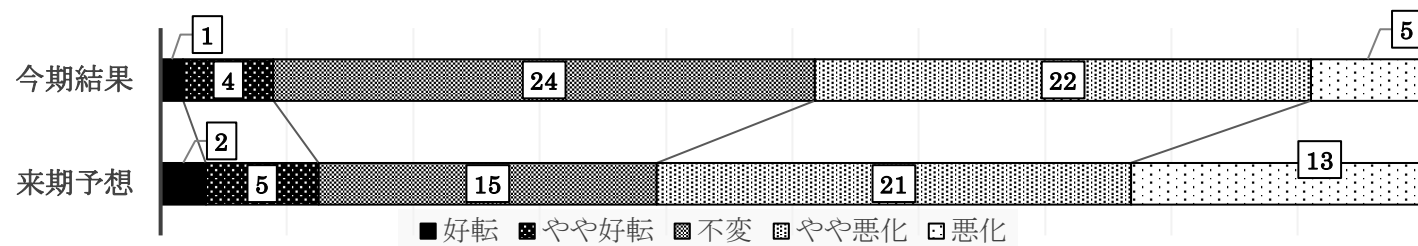
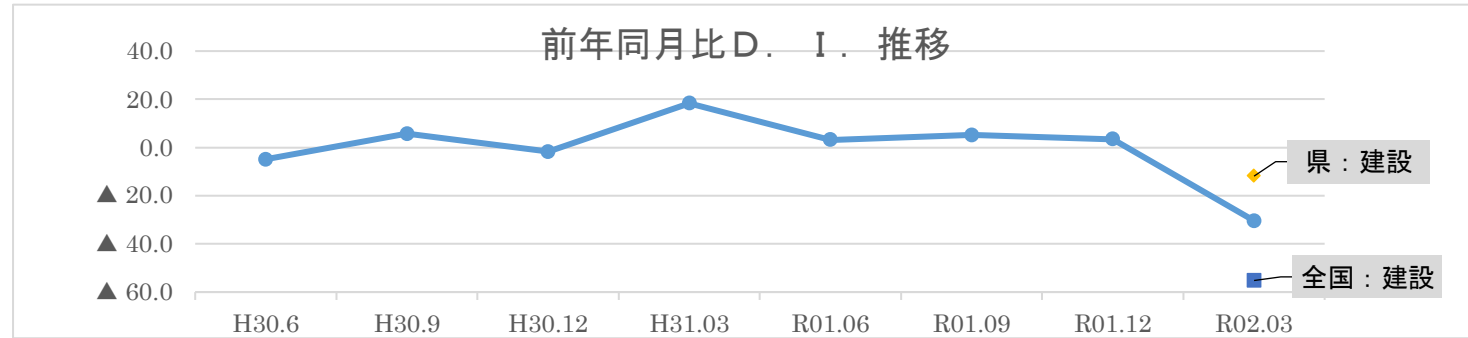
# 建設業

回答率：90.3% (56/62)



## ■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響により、部材の調達が困難になり、後期に遅れが生じ始めた。工事が未完のままになり、資金繰りが厳しい事例もあり、金融機関の支援が必要になってくる。



## ■丹波市の景況動向

### 【丹波市の今期の景況】

建設業全般では、3月初旬に中国からの部品や材料調達が困難になってきており、特にトイレや給湯器の部材がなく、工事に遅れが生じ、引き渡しができず、売り上げに影響が出ている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルスの影響により、6・7月以降公共工事が大幅に減少してくるだろうという意見もあり、不安を抱えている業者も多い。また住宅展示会等のイベントも中止が続き、新規顧客の獲得も困難になっている。

## ■全国の景況動向

例年であれば、3月は公共工事完了により売上が増加する時期であるが、新型コロナウイルスの影響によりバス・トイレなどの水回り品だけではなく、塩ビパイプや継手部品の調達難が発生している。そのため、工事が未完了のまま、資金繰りを圧迫している事例や新規受注に対応できないという報告があった。

## ■県下の景況動向

中国部材のトイレやキッチンなどを含む輸入関連商材などがコロナウイルスの影響で調達ができない状態が改善されないまま、建設・建築工事の一部では完成引き渡しが遅れるなど被害が発生しており、売掛金の回収が遅れ気味になっている。

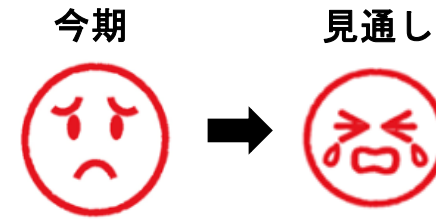
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	2	2	2	0	7	12.3%
不変	2	12	3	4	2	3	26	45.6%
悪い (悪化+やや悪化)	1	7	3	6	3	4	24	42.1%
合計	3	20	8	12	7	7	57	100.0%

# 製造業

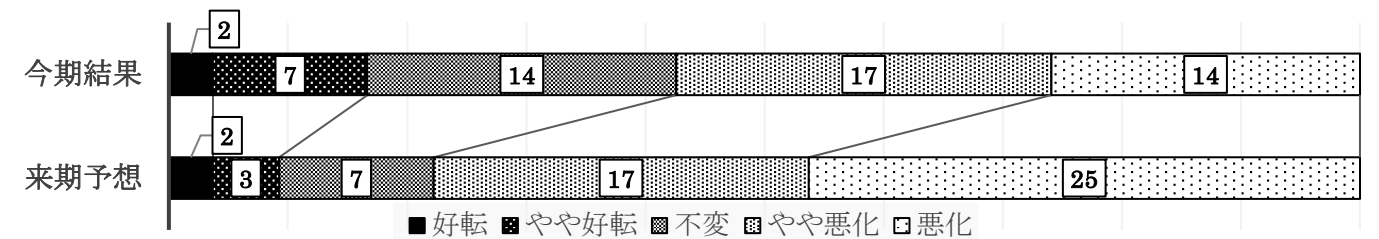
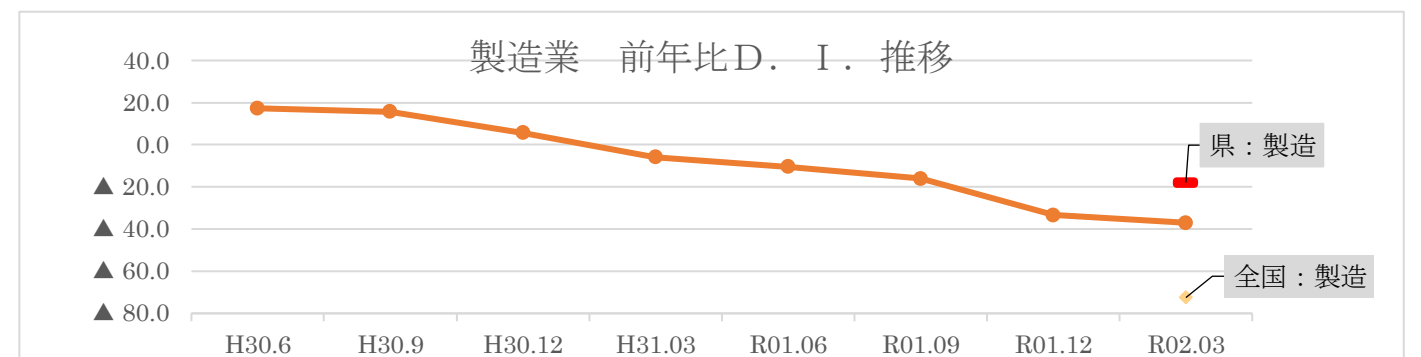
回答率：92.9% (53/57)

2020年1月～3月期調査



## ■丹波市の景況推移

小学校休業により家族を抱えている従業員を休業せざるを得ない状況も発生し、工場稼働率は大幅に減少した。また部品調達もうまくいかず、全体的に厳しい状況が続くと予想される。



## ■丹波市の景況動向

### 【丹波市の今期の景況】

海外からの部材調達の困難により、出荷ができず、工場の稼働率が大幅に減少した。それにより、従業員を休業させざるを得ない状況となり、丹波市の地域経済の停滞に繋がっている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

引き続き厳しい状況が続く中で、これまで外注していた部分を自社で内製化するなど、業務の見直しを検討する事業所が増えてきている。

## ■全国の景況動向

全体的に大幅に景気が落ち込んでいる。外出を控える需要に適合した食品製造業やマスク需要に対応した繊維製品製造業では売上増が見られた。しかし、大部分の製造業では、原材料高騰や受注低下、海外からの部品調達難により売上は大きく落ち込み、また、中国への依存度により、影響度合いの二極化が発生している。

## ■県下の景況動向

兵庫県下では、自動車関連部品の現地工場の休業等により、日本国内の部品製造にも大きく影響を受けている。繊維工業においてはこれまでの生産量の減少と重なり、コロナの影響も受けさらに悪化している。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

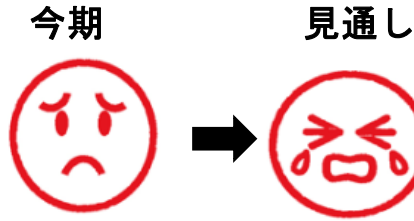
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	2	2	3	0	11	20.4%
不変	0	5	1	1	4	1	12	44.7%
悪い (悪化+やや悪化)	3	6	4	3	10	5	31	57.4%
合計	5	13	7	6	17	6	54	100.0%

# 小売、卸売業

回答率：91.9% (68/74)

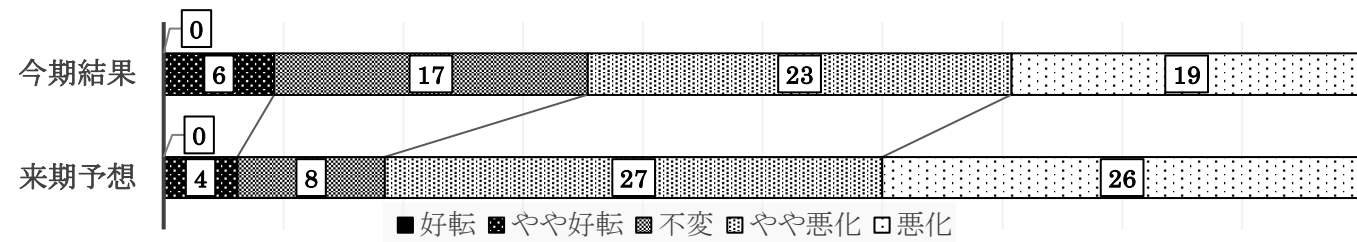
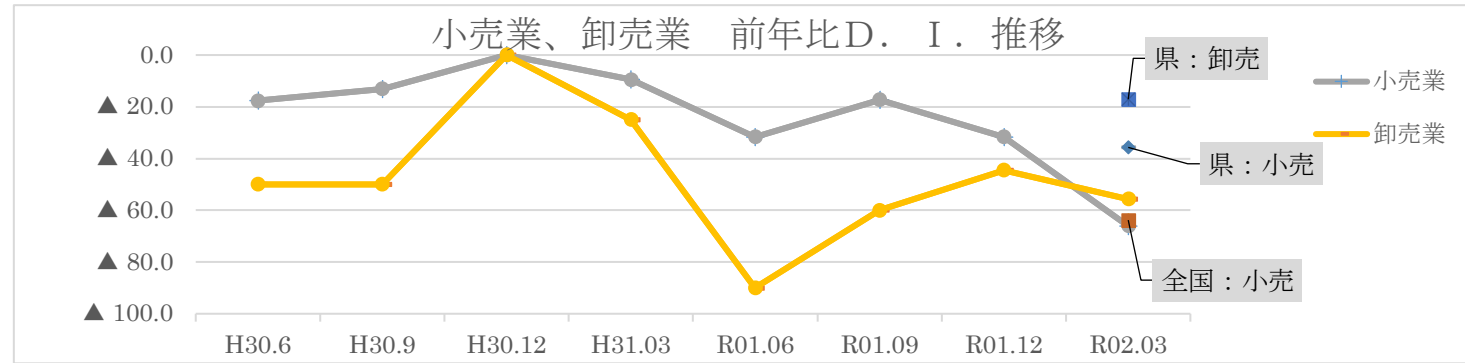


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



## ■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの終息の目途が立たず、自粛ムードが続き、多くの店舗では来店者数が大幅に減少している。国の発表次第で今後改善するか、さらに悪化するか左右される。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

スーパーやコンビニ、ホームセンターなど生活必需品を揃えている事業所は普段以上に利用者が増えている。一方で衣料品店などそれ以外の業種に関しては、外出制限の影響で来店者数が激減し、売りに大きな影響を与えている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルスの終息の目途が立たず、この状況がしばらく続くと考えられる。丹波市の景況も緊急事態宣言の解除情報など政府の発表に左右されるため、5.6月も引き続き不安定な状況が続き、景況はまだまだ困難であると考えられる。

## ■全国の景気動向

小売業は生活必需品とそれ以外の業種で景況に対して二極化が見られた。生活必需品や食料品を買い込む消費者が増えたことから、売上が急増したとの声が聞かれた。一方で、衣料品小売業の売上は大幅に減少となった。

## ■県下の景気動向

新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、来客数減少に歯止めが利かない状況で、時短営業を強いられている。事業資金の調達など苦悩しているところも多く、特別融資の相談増加傾向にある。

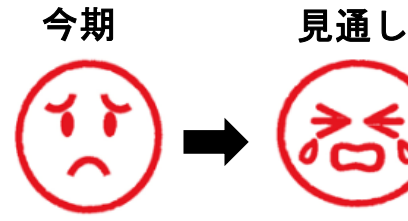
## ■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	0	1	1	0	3	4.3%
不変	2	10	0	1	2	2	17	24.6%
悪い (悪化+やや悪化)	11	13	5	8	9	3	49	71.0%
合計	13	24	5	10	12	5	69	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

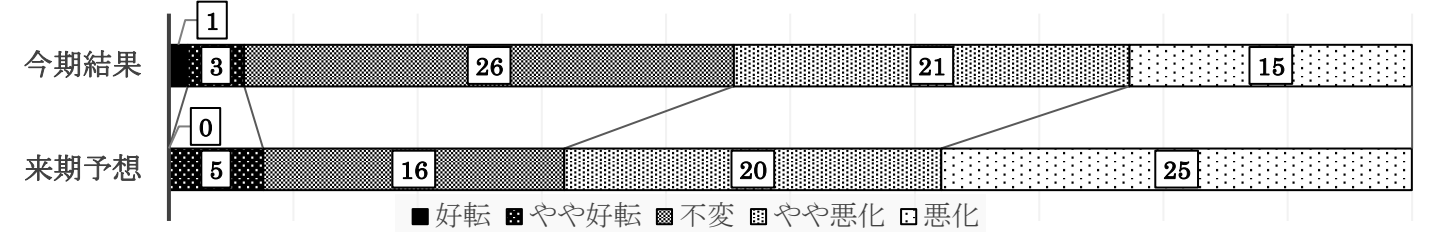
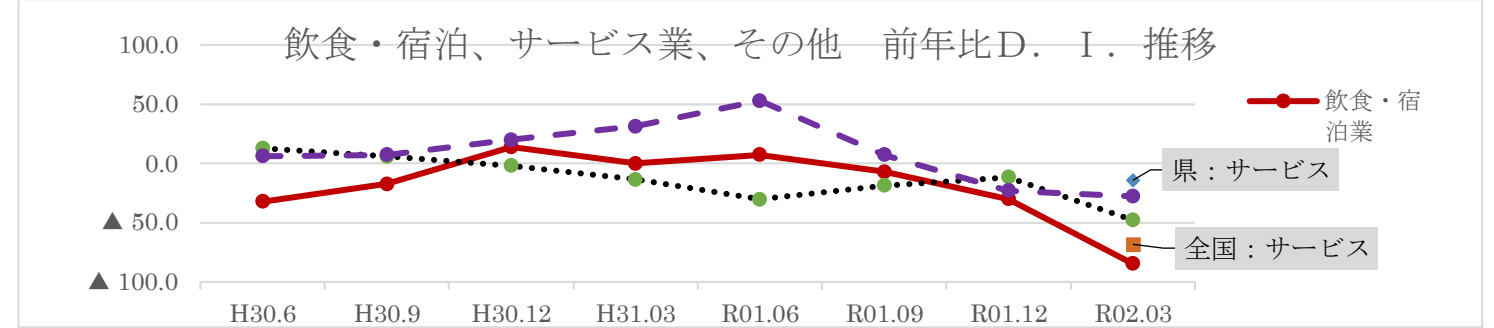
回答率：85.9% (92/107)

2020年1月～3月期調査



## ■丹波市の景況推移

全国的な自粛ムードにより、外出制限、イベントの中止により飲食・宿泊業、イベント業は深刻なダメージを受けている。繁忙期の大型連休も休業を余儀なくされた事業所もあり、厳しい状況が続く。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

3月には観光業や飲食・宿泊業の団体客等のキャンセルにより、今まで以上に利用客が減少している。また、4月上旬に福岡の美容室でクラスター発生のニュースを機に、理美容関係の事業所でも利用客が激減し始めた。

### 【丹波市の来期の景況予想】

5月末まで続く緊急事態宣言が今後どうなるかによって、事態は少し戻すかさらに悪化するかは全く見当がつかない状況である。ただ、飲食業のテイクアウトなど、コロナの影響を踏まえた新たな取り組みも今後ますます増えてくると考えられる。

## ■全国の景気動向

コロナの影響が国内でも出始めた2月ごろから利用客数が徐々に減少し、3月には壊滅的な状況となった。またこの時期はGWの予約が入ってくるシーズンであるが、8~9割の事業者でキャンセルが見られるなど、深刻な状況は際立っている。

## ■県下の景気動向

宿泊業や飲食業では1.2月の予約客のキャンセルが相次ぎ、3月はまったく売りに上がっていない状況にある。その他のサービス全般においても、消費者の外出自粛の影響で前年月に比べ、大幅な売り上げ減となっている。

## ■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	1	1	2	0	1	8	8.7%
不変	5	7	3	3	6	2	26	28.3%
悪い (悪化+やや悪化)	13	19	4	7	6	9	58	63.0%
合計	21	27	8	12	12	12	92	100.0%